



02

パパの育児参加が パラレル家事の第一歩！

実は、育児も立派な家事の1つ。
イクメンは家事メンへの道に続いています。
家事シェアリングの基本は、男女が協力して
効率よく家事をこなす「パラレル家事」。
パパの育児参加は、ママのワンオペ育児解消だけでなく、
家事の時間短縮にもつながります。

熊崎さん家の家事シェア

パパが無理なく楽しめる育児を担当。

子どもが生まれてからは、お風呂と寝かしつけがパパ担当だったという熊崎さん夫妻。元々、ご主人は早寝早起きが習慣だったため、無理なく引き受けてくれたそうです。おかげで奥様は、夕食後の家事に集中でき、自分の時間も取れたといいます。また休日には、ご主人が子どもを連れて一日遊びに出掛けてくれることも。「自分も出掛けるのが好きなので、3人の外出も平気。パパも楽しめない、育児は続かないと思います」と話すご主人。時には、同じく子ども連れのパパ友と一緒にスキーに行くなど、楽しみが広がっています。

共通の趣味が、そのまま親子の時間に。

上のお子さんは、小学校に上がってから野球に興味を持ち、地域のチームに入部。ご主人も子どもの頃に野球をやっていたこともあり、毎週熱心に練習や応援に駆け付け、指導にも携わることに。ご主人が練習に付き添ってくれるので、奥様も休日は家事や下のお子さんの育児に集中できるようになったそうです。今では野球が共通の話題となり、夫婦の会話もグッと増加。奥様も「夫婦で子育てをすることで、お互いの理解も深まり、思い出も共有できています」と、育児シェアの良さを伝えてくれました。



パパの趣味を、 子どもの趣味に！

熊崎さんは、自分の好きな野球を子どもに教えることで、趣味を共有。そのおかげで、無理なく日曜日の子育てが、パパの担当になっています。楽しみながら育児に参加できるのが、趣味共有のポイントです。

FOR MEN

子どもを家から連れ出す だけでも、ママは喜ぶ！

パパが子どもと遊んでいる間は、ママが家事に専念できるチャンス。また子どもにとっても、パパとの時間がママとは違うコミュニケーションやルールを学ぶ、いい機会になります。まずは公園デビューからスタートし、慣れたら父子旅にチャレンジするのもおすすめ！

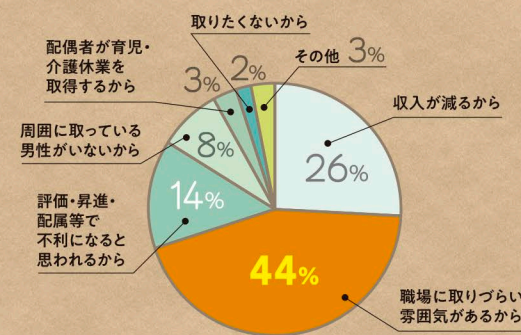


FOR WOMEN

パパが参加できる 育児環境を目指そう！

育児を夫婦の仕事にするためには、ママも子育ての悩みをパパに相談するなど、一緒に育児をする姿勢も大切。幼稚園や学校などの行事にも、積極的に誘いましょう。同じイクメンのパパ友ができれば、育児ももっと楽しくなります。

男性の育児・介護休業取得率が低い理由



出典元：平成28年度 岐阜市「男女共同参画に関する市民意識調査」

ギフのメンズ家事データ

男女問わず、育児を支援する企業も増加傾向。

男性の育児休業取得者が少しずつ増えている昨今。岐阜市でも、男性の育児・介護休業について「取りたくない」と考えている人は少ないことが分かります。しかし一方で、「職場に取りづらい雰囲気がある」と感じている人も。そこで岐阜市では、仕事と家庭の両立支援を積極的に進めている企業を表彰する「岐阜市男女共同参画優良事業者表彰」を実施。表彰企業をロールモデルに、育児を支援する企業が毎年増加しています。